日本の未来を創る大学の

挑戦

日本の未来を創る大学は、社会環境や社会的課題の変化によってこれまでも様々な影響を受けてきました。
急激な転換が求められる時代の人材育成は教育界にとっても大きな課題です。
経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会としてSociety 5.0が注目を集める中、
21世紀のニューノーマル社会を力強く生き抜くためには、質の高い教育を通じて変化に主体的に
対応できる人材を育成していかなければなりません。

大学には、それぞれの建学の精神・理念に基づいた「ミッション&ビジョン」を明確にし、
アドミッション・カリキュラム・ディプロマの3つのポリシーを再検証しながら、
「大学の教育力」を高め、「有為な人材育成」に貢献していくことが期待されています。

産經新聞社
N-DRICOM 日本ドリコム

日本の未来を創る大学の

挑戦

大学入学共通テスト 来年1月実施

大学入試センター試験に代わる『大学入学共通テスト』が来年１月に実施される。文部科学省では、高校教育と大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革「高大接続改革」に取り組んでいる。国際化や情報化の進展、社会構造の変化など、予測困難な時代に新たな価値を創造する能力として、思考力・判断力・表現力の養成を目指していく。文科省の前田幸宣・大学入試室長と宇宙飛行士を目指すタレントの黒田有彩さんに、学びが切り開く未来について聞いた。（聞き手　宮田奈津子）

新たな価値 創造する力育成

文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長 前田幸宣氏に聞く

――来年１月に大学入学共通テストが実施されます。新方式導入の背景は

昭和54年度から実施されていた国公立大学対象の共通一次学力試験に代わり、平成2年度から私立大学にも対象を広げた大学入試センター試験が行われてきました。しかし、近年では国際化や人工知能といった技術革新に伴い、社会構造も大きく変化しています。次世代を見据えた新たな大学入学者選抜として始まるのが共通テストです。今年は、新型コロナウイルスの影響で、３つの日程（第1日程は16・17日、第2日程は30・31日、特例追試験は2月13・14日）で実施予定です。

――どのような選抜方式なのでしょうか

マーク式ですが、会話や図表などのデータを読み解く形式や分野横断的な内容、前問の解答と関連させた連動型問題などが出題される見込みです。判断材料を増やすことで、知識の理解の質だけではなく、思考力・判断力・表現力を確認していきます。出題科目は6教科30科目で、各大学が利用教科や科目を指定することできます。

共通テストを利用してもらうことで、小論文や面接、帰国生や社会人選抜などを実施する大学が増加しています。各大学が実施する個別試験との組み合わせによって、大学入試全体の多様化につなげていく狙いもあります。

――思考力・判断力・表現力を重視しています

予見困難な時代を生きる次世代は、課題を見いだし、解決しながら新たな価値を創造する力が必要になります。そのためには、①知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度―を学力の3要素として育成することが重要になってきます。

――そのために高大接続改革を推進してきた

高校・入試・大学をセットで改革しています。高校教育で多様な力を確実に育成し、大学教育でその能力を伸ばしていきます。高校と大学をつなぐ大学入学者選抜は、能力を多面的・総合的に評価できる方式を模索しなければなりません。

――受験生のみなさんにメッセージを

過去問がなく不安を抱いている受験生もいると思います。しかし、センター試験が蓄積してきた良問の伝統を継承しながら、高校教育の積み重ねで培った学力を判断するものです。高校での学習が大きく変化するものでもありません。新型コロナといった感染症への対策や体調管理を大切にして、共通テストに臨んでほしいと思います。

高校教育で培った学力を評価



大学入学共通テストの出願受付が9月28日から10月8日（消印有効）まで行われた。大学入試センターの発表によると、出願総数は、第1日程と第2日程を合わせて、計53万5244人という＝9月28日午前、東京都目黒区（松井英幸撮影）

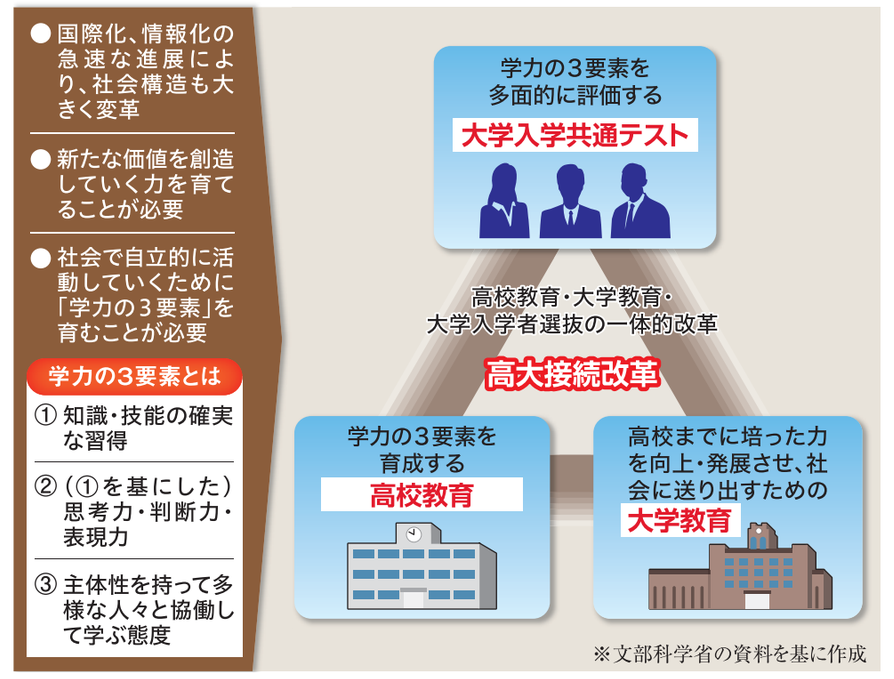
進む大学入試改革

大学入学共通テストが来年１月にスタートする一方で、文部科学省などでは令和６年度をめどに大学入学者選抜改革を継続している。

共通テストは当初、まずは国語と算数での記述式を導入するほか、英語４技能（読む・聞く・話す・書く）を総合評価するため、実用英語技能検定（英検）などの民間試験の活用が予定されていたが、採点方式や地域・経済格差などの問題が浮上し、昨年11月に延期が決まっている。記述式や英語４技能評価については、大学や高等学校の関係団体などによるワーキンググループが検討を継続しており、文科省では来年夏には方針を示す予定という。

高校では、４年度から新たな学習指導要領が導入され、プログラミングなどの知識を学ぶ「情報Ⅰ」が必修化される。これに伴い、同６年度の共通テストでは、新教科として「情報」を設ける予定。また、現在の６教科30科目から７教科21科目への出題科目再編や、教科によってはパソコン上などで回答するＣＢＴ方式採用予定など、時代の変化を見据えた大学入試改革が進んでいきそうだ。

「高大接続改革」のポイント



※文部科学省の資料を基に作成

インタビュー

タレント 黒田有彩さん



（萩原悠久人撮影）

くろだ・ありさ　１９８７年10月29日生まれ、兵庫県出身。お茶の水女子大学理学部物理学科卒。文部科学省国立研究開発法人審議会宇宙航空研究開発機構部会臨時委員。ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル『黒田有彩もウーチュー部』（毎週水曜更新）で宇宙の魅力を発信している。

何かを変えたいと願えば強くなれる

中学時代に作文コンクール入選の副賞で米航空宇宙局（ＮＡＳＡ）を訪問した経験から、宇宙飛行士を志すようになった黒田有彩さん。好きな物理への思いや芸能界への憧れを胸に大学受験勉強に励んだという。黒田さんが振り返る学びのおもしろさや進路選択、夢の実現とは―。

◇

――宇宙への興味を抱えながら、どのような高校生活を送っていましたか

ダンス部の活動に夢中でした。友人たちと音楽や衣装、身体表現に込めるメッセージなど、ゼロから考えて作りあげていくことが楽しかったです。

――大学受験への備えはスムーズでしたか

成績を周囲と比較して空回りし、「受験、しなくてもいいじゃん」と考えていた時期がありました。大学に行って学ぶことを考えてみると、思い浮かぶのは物理と宇宙。そこだけは揺らぎませんでした。好きなことに挑戦しようという気持ちにたどりつきました。

――芸能界への憧れも

ダンス部での経験から、芸能への思いが膨らんでいました。高校２年生の進路希望調査の際、第１志望欄に「芸能界に行きたいので、大学受験はしません」と記入して、決意表明しました。家族にも気持ちは伝えていませんでした。

――大きな決断でしたね

最悪な空気の三者面談が待っていました。ところが、先生は「大学でいろいろな〝武器〟を手にしてから、芸能界に挑戦しても遅くはないよ」と応援してくれたのです。その言葉が、夢をかなえたいというモチベーションになり、心が折れそうな受験期を支えてくれました。その後、大学１年のとき、東京ドームでのビール販売のアルバイト帰り、スカウトされて芸能活動が始まりました。

――大学生活で打ち込んだことは

歴史や他大学との連携などにひかれてお茶の水女子大学を志望しました。４年生のときに研究していたのは重力波。重力波が観測できれば、宇宙の始まりの物語が分かるかもしれない。そう考えると興味がつきませんでした。学生なので応募条件を満たさないのですが、意欲だけでも伝えたくて、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）の宇宙飛行士試験に応募したこともあります。

――思考力・判断力・表現力をどう考えますか

答えのない問題を考える力が思考力なのではないでしょうか。判断力は、想定外の事象やミスをした後の対応にいきるはず。表現力は、相手の気持ちや期待をどれだけくみ取ることができるという、人間力に通じる力ではないでしょうか。

――宇宙飛行士を目指す上で、ご自身が育みたい力は

バランス力です。宇宙飛行士は高い水準でバランス力をもっている集団です。机上の学問だけではなく、斜に構えず、いろいろなものを見聞きし、他者の考えに耳を傾ける経験の積み重ねを大切にしています。

――受験生のみなさんへの応援メッセージを

大学では、異なる視点をもった方々と出会うことができます。明日を生きていく上では必要のないことを議論する経験が、世界を深めてくれます。目くるめくように時代は変わりますが、変化の瞬間はチャンスも多い。受験期の不安も、将来あなたが咲かせる花の種かもしれない。何かを変えたいと願えば、強くなれると信じています。

《企画・編集》産経編集センター



国立 大学法人 お茶の水女子大学
広報担当 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 Tel 03-5978-5105 http://www.ocha.ac.jp/
学部 文教育学部／理学部／生活科学部
大学院 人間文化創成科学研究科

TOP MESSAGE



学長 室伏 きみ子

1970年お茶の水女子大学理学部生物学科卒業。72年同大学大学院理学研究科修士課程修了。76年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了後、ニューヨーク市公衆衛生研究所研究員。お茶の水女子大学助手、講師、教授、理学部長、理事・副学長を経て2015年から現職。医学博士。日本学術会議会員、㈱ブリヂストン社外取締役、日本医療研究開発機構監事等を歴任。

女子教育の先達として 平和で幸せな社会を創る女性たちを育成

――貴学の使命と教育理念をお聞かせください。

本学は、１８７５年の創立以来、女子教育の先達として道を切り拓いてきました。現在も「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」とのミッションのもと、広い視野と豊かな感性で未来を担う女性たちの育成に取り組んでいます。旧来の性による役割意識から解放されて、固定観念にとらわれることなく自由に自身の資質・能力を開発し、責任をもって活動の中心で挑戦できる女子大学での経験は、変化の激しい社会においても、高い自立心や柔軟な思考力、適切な判断力で、平和で幸せな社会を創ることに貢献できると信じています。

――新型コロナウイルス感染症対策への取り組みは。

新型コロナウイルス感染防止対策室を設置しています。全学に向けて定期的な注意喚起をし、もし感染の疑いがある学生・職員を把握した場合には、保健管理センターの医師等が直接助言や指示を行います。

また、コロナ禍により、経済的な理由から学生たちが学びを諦めることがないよう、国からの授業料減免や奨学金などの他に、同窓会のご協力も頂き、本学独自の「緊急学生支援金」や奨学金を用意しています。

オンライン授業実施にあたっては、通信環境に困難がある学生にモバイルＷｉ－Ｆｉを貸与するなどの支援も行いました。また前期に何度か実施した学生アンケートの内容を踏まえ、実験・実習・実技を含む授業や専門科目等の授業では、後期から部分的に対面授業を再開しています。対面授業は、学習の目標や成果を確認するとともに、学生の長期的な学習意欲や目標を高めるために必要と判断しました。

――キャンパス内に新寮を建設していると伺いましたが。

より安全で安心な教育・研究環境を創るために、学内寮の新設を進めており、２０２２年４月から入寮を開始します。キャンパス内に寮があることで、学生たちが学問・研究に専念できるだけでなく、大きな災害が発生した際の安全確保が万全に行えるなど、快適な環境で、安全に学ぶことが出来ると考えています。

駿河台大学
SURUGADAI UNIVERSITY

入試広報部 〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698　Tel 042-972-1124　https://www.surugadai.ac.jp
学部 法学部（企業と法コース／警察・消防コース／法職・行政職公務員コース）／経済経営学部（経済と社会コース／経営と会計コース／観光＆国際ビジネスコース）／メディア情報学部（映像・音響メディア分野／デジタルデザイン分野／図書館・アーカイブズ分野）／心理学部（臨床の心理コース／犯罪の心理コース／子どもの心理コース）／スポーツ科学部（スポーツ健康モデル／スポーツ教育モデル／地域スポーツモデル）
大学院 総合政策研究科（法学専攻／経済・経営学専攻／メディア情報学専攻）／心理学研究科（臨床心理学専攻／犯罪心理学専攻）

TOP MESSAGE



学長
大森 一宏

早稲田大学政治経済学部卒業、同大学院にて博士（経済学）取得。主な専門分野は日本経済史、日本経営史。2006年４月駿河台大学経済学部（現経済経営学部）教授に就任。2012年４月から経済学部長、15年４月から副学長。16年４月からグローバル教育センター長を兼務。19年４月に学長に就任し、現在に至る。

リモート時代にこそ、駿大ならではの愛情教育が求められている

――創立35周年に当たる2021年は「グランドデザイン2021」の最終年です。

５カ年計画として、「教育力」「就業力」「学生支援力」「地域力」「研究力」の５つを掲げ、駿大ブランドの構築・強化に取り組んできました。「教育力」では、読解力や情報収集力、思考力、協働力といった社会人基礎力を身につけることを重視し、教職員が総力をあげて学生一人ひとりに向き合うことを徹底。１年次から始まるゼミにおいてもすべてのゼミに専任の職員が付き、クラス担当教員や教育センターなどの各機関と協働してきめ細やかなサポートを行っています。

――まさに建学の理念である「愛情教育」の実践ですね。

35周年を目前に控えた今、愛情教育による学生との繋がりの深さが、大きな実りとなりつつあるように感じています。例えば全国の企業や自治体で活躍する卒業生が、インターンシップや寄付講座、まちづくり教育などで積極的に協力してくれています。また、就職活動を終えたばかりの先輩が後輩をアドバイスする制度もあり、直近の就職戦線に合わせた対策をとることができています。就業力の強化においては、「コロナ禍においてどのように就職活動を始めればいいか分からない」という初動での不安が多く寄せられたことを受け、教職員とキャリアセンターがしっかりとサポートする体制を整えています。

――2022年以降のビジョンについてはどうお考えですか。

特に注力したいのが「教育力」の向上であり、リモートと対面をうまく組み合わせた新しい教育スタイルの確立が不可欠でしょう。以前からMoodle（ムードル）というe-ラーニングシステムを導入していましたが、どうしても対面授業が中心で積極的に活用していませんでした。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行し、必要に迫られて使ってみたところ多くのメリットがあることが分かりました。今後はリモートと対面のメリット・デメリットを考慮しながら、課題に合わせて上手く使い分ける必要があると考えています。いずれにしろ学生一人ひとりに愛情を注ぐという姿勢は不変であり、愛情教育をさらに深めていきたいと思います。



産経Square https://www.sankeisquare.com/　ドリコムアイ.net https://dricomeye.net/77_pdf/

専修大学

広報課 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8　Tel 03-3265-5819　https://www.senshu-u.ac.jp/
学部 経済学部／法学部／経営学部／商学部／文学部／ネットワーク情報学部／人間科学部／国際コミュニケーション学部
大学院 経済学研究科／法学研究科／文学研究科／経営学研究科／商学研究科
専門職大学院 法務研究科（法科大学院）

MESSAGE



学長
佐々木 重人

1955年生まれ。78年専修大学商学部会計学科卒業。83年同大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（経営学）。同助教授を経て、95年同教授。2013年商学部長。16年から現職。専門は会計史。著書に『近代イギリス鉄道会計史ーロンドン・ノースウェスタン鉄道会社を中心にー』など。

創立150周年に向けて「社会知性の開発」を具現化する取り組みを推進

――今年創立140周年を迎えられました。

本学の21世紀ビジョン「社会知性の開発」を具現化するために、140周年記念事業として、神田キャンパスの開発や学部の新設、再編、再配置を進めてきました。

2020年4月、神田キャンパスに国際コミュニケーション学部を新設し、国際的教養人の育成がスタートしました。また、商学部は生田キャンパスから神田キャンパスへ移転し、法学部および国際コミュニケーション学部との相乗効果等も含めて、学生への教育内容をさらに充実させました。生田キャンパスでは、経済学部の学科再編によって、現代経済学科と生活環境経済学科を設置しました。

さらに、学生の知的好奇心を刺激する、地上16階建ての都市型高層校舎である神田10号館（140年記念館）も完成し、運用を開始しました。本学の新たな知の発信拠点となることを期待しています。

――SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みは。

本学学生を対象としたコンテスト「SDGsチャレンジプログラム2020」を独自に開催し、優秀な提案や実践を表彰するとともに、提案の実現に向けたアクションを大学がサポートしていきます。創立150周年の2030年がSDGsの目標達成年と同年であるのを偶然とは考えず、取り組みを推進してまいります。

――新型コロナウイルスへの対応はいかがですか。

今年度の授業はオンライン形式で始まりましたが、さまざまな知見を持った教職員が知恵を出し合って、オンライン授業ならではのメリットを生かし対応しました。変化する環境への対応力とコミュニケーション能力の大切さを実感しています。

――受験生へのメッセージを。

受験生の皆さんは今、自分が思い描いていた活動ができず、悩み苦しんでいる人が多くいると思います。このような状況だからこそ、課題に対してどう向き合い、いかに克服していくのかが重要となります。それが、本学が掲げる「社会知性の開発」にもつながるのです。問題意識を持ち、それを解決する意欲を持った人たちにぜひ本学を志願してほしいと思います。

神奈川大学

入試センター 〒221-8624 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-26-1 Tel 045-481-5857
学部 法学部／経済学部／経営学部／外国語学部／国際日本学部／人間科学部／理学部／工学部
大学院 法学研究科／経済学研究科／経営学研究科／外国語学研究科／人間科学研究科／理学研究科／工学研究科／歴史民俗資料学研究科

TOP MESSAGE

学長
兼子 良夫

大阪大学博士（経済学）。2013年経済学部長兼第二経済学部長、16年学長就任。20年9月から理事長を兼任。文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会特別委員、公益財団法人大学基準協会理事、日本サラマンカ大学友の会理事、神奈川県日中友好協会副会長、山形県総合政策審議会会長なども務める。山形県出身、64歳。

横浜から世界に向けて新しい時代を創造できる人材を送り出す。

――横浜みなとみらい地区に新キャンパスを開設されますね。

本学は1928年の創立以来、横浜の街とともに発展してきました。8学部8研究科を擁し、約1万8000人の学生が学ぶ現在、2028年の創立100周年を見据えて〝未来をつくる改革〟を推進しています。その核となるのが、21年4月に開設する「みなとみらいキャンパス」です。グローバル教育に注力する、外国語学部、国際日本学部、経営学部を集約し、新時代を創造する人材を育成します。また、産官学連携の中核となる社会連携センター（仮称）も設置し、オープンイノベーションを活発に展開しながら、新たな「知」の交流拠点を構築します。ダイバーシティに富む新時代の一大キャンパスとして、みなとみらいの先進性あふれる立地を生かし、多種多様な教育プログラムを展開していきます。

――〝神大〟といえば、「給費生制度」が有名です。

創立者の米田吉盛は昭和初期の不安定な社会情勢のなか、物事の本質を偏らずに見極められる中正堅実な青年を一人でも多く社会に輩出することが急務と考え、1933年に「給費生制度」をつくりました。全国から優秀な人材を募り、その才能を育成することを目的とした本学独自の奨学金制度です。さらに、受験前に審査を実施し経済支援を約束する「予約型奨学金」など、奨学金制度の充実を図るとともに、ゼミ・卒研に代表される少人数教育の推進、キャリアサポートまで、様々な活動に積極的に挑戦できる環境を整備しています。今般のコロナ禍にあっては、全学生に一律5万円の修学支援金支給をはじめ、学修等に支障をきたさぬよう物心両面にわたり、教職員一体となってサポートしています。

――貴学が描く将来の人材像とはどのようなものですか。

大学の存在意義は、いかに人類に貢献し、未来を先導できるかにかかっています。人と社会の動きに関心を持ち、持続可能な、より良い社会を目指して行動することができる人、自らの目標に向かって困難を乗り越えられる、チャレンジ精神溢れる学生を待っています。

大東文化大学

〒175-8571　東京都板橋区高島平1-9-1　入学センター　Tel 03-5399-7800　https://www.daito.ac.jp/
学部 文学部／経済学部／外国語学部／法学部／国際関係学部／経営学部／スポーツ・健康科学部／社会学部
大学院 文学研究科／経済学研究科／法学研究科／外国語学研究科／アジア地域研究科／経営学研究科／スポーツ・健康科学研究科

TOP MESSAGE



学長
内藤 二郎

1965年生まれ。神戸商科大学（現兵庫県立大学）大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士（経済学）。専門分野は中国経済論・開発経済。2003年から大東文化大学経済学部専任講師、准教授、教授を歴任し、20年4月から現職。

〝真ん中に文化がある。〟大学として多文化共生による新たな価値を創造

――今年学長に就任されました。創立100周年に向けての抱負をお聞かせください。

2023年の100周年に向けて、「文化で社会をつなぐ大学」をミッションとして掲げ、新たにステートメント「真ん中に文化がある。」を策定しました。本学の歴史を振り返ってみても、大学は教育研究の場であると同時に、さまざまな文化に根ざす多様な価値観が交差する場でもあります。その交差を体現する「まんなか学部」という場を設け、地域・領域・時代を超えた多彩な文化との出会いを促進し、持続可能な教育研究、交流の拠点を提示してまいります。

――新型コロナウイルスへの対応はいかがですか。

まずは学生のオンライン環境を整えることから始めました。「大東学生特別支援金」として5万円の給付や、300台以上のPCやWi-Fi・ルーターの貸与などを実施しました。今後は、人とのコミュニケーションを軸とした気づきを促す対面授業との組み合わせなどメソッドを横断し、教育の質の向上を図ってまいります。

――特色ある研究教育プログラムについてお聞かせください。

地域や社会との結びつきという点では、板橋・東松山の両キャンパスで、地元自治体と連携し、公開講座を開講しており、幅広い年齢の方に〝開かれた大学〟として好評です。また、東日本大震災で被害を受けた宮城県東松島市では、相撲部による「ちびっこ相撲」や管弦楽団による「東松島フレンドシップコンサート」など、継続的なボランティア活動で成果を上げてきました。

また研究面では、「漢学・書道の大東」の伝統を生かし、「書」や「道」の学際的研究で「東洋人の道（ヒューマニティー）」を育てる」大学を目指す研究ブランディング事業が進行中で、文部科学省の「私立大学ブランディング事業」にも採択されています。

コロナ禍という厳しい状況にありますが、本学ではこれまでどおり、困難に立ち向かい、自らの頭で考え、人との関わりの中で自己を確立し、自信を持って社会に出ていける人材を育てていきたいと考えています。

駒澤大學

総務部広報課 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1　Tel 03-3418-9828 https://www.komazawa-u.ac.jp/
学部 仏教学部／文学部／経済学部／法学部／経営学部／医療健康科学部／グローバル・メディア・スタディーズ学部
大学院 仏教学研究科／人文科学研究科／経済学研究科／商学研究科／法学研究科／経営学研究科／医療健康科学研究科／グローバル・メディア研究科
専門職大学院 法曹養成研究科（法科大学院）

TOP MESSAGE



学長
長谷部 八朗

1950年生まれ。74年慶應義塾大学商学部卒業。82年駒澤大学大学院人文科学研究科社会学専攻博士後期課程満期退学。96年同大学仏教学部助教授。2002年同教授。17年学長に就任。日本宗教学会常務理事・評議員、日本山岳修験学会副会長。

「学生ファースト」の視点に立ち仏教の教えと禅の精神を現代に生かす

――「学生は人財」という表現をされています。その意図は？

私は「学生ファースト」の視点に立ち、学生一人ひとりが才能と個性を有する存在であるという意味をこめて、「人財」ではなく、「人才」の文字を使っています。大学の役割は、それぞれが潜在的に持っている「才智」を掘り起こし、社会に貢献する有為な「人才」として育成することにあると考えています。

――教育理念である「仏教の教えと禅の精神」は、現代にどのように生きているのでしょうか。

技術革新や情報化が急速に進展する現代においては、複雑で多面的な社会状況に対応できる人才が必要だと考えます。そこには、仏教でいう「柔軟心」が大きな意味を持ちます。知識を社会に役立てるための「智慧」と、他者を思いやる「慈悲」に裏打ちされた穏やかな精神こそが、現代社会の課題を解決する大きな力になると思うのです。

プログラミングも、人間の創造性が発揮されているわけであり、第四次産業革命という時代にあっても根本には人間存在があります。専門的な知識やスキルはもちろん、それと同時に対人的な調整能力やコミュニケーション能力が求められてくるのであり、智慧と慈悲を身につけ、自己形成を図ろうとする本学の教育理念はいつの時代にあっても古びることはないのです。

――教学環境の整備や、教育・研究面での特色ある取り組みについてお聞かせください。

開校130周年記念棟「種月館」にはグループ学習やアクティブラーニングに適した教室などがあり、学生ファーストの視点から教学環境を整えています。また、ハード面だけでなく、幅広い教養教育・外国語教育による「駒澤人育成基礎プログラム」も本格化しており、本学の一員たるアイデンティティを確立できるものと期待しています。

さらに、「禅と心」研究の学際的国際的拠点となるべく「禅ブランディング事業」を進めているほか、今年度はコロナ禍で中止となってしまいましたが、例年開催している公開講座やスポーツフェスティバルには地域の方にも多く参加いただくなど、地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

玉川大学

教育情報・企画部広報課　〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1　Tel 042-739-8710　https://www.tamagawa.jp
学部 文学部／農学部／工学部／経営学部／教育学部／芸術学部／リベラルアーツ学部／観光学部
大学院 文学研究科／農学研究科／工学研究科／マネジメント研究科／教育学研究科／脳科学研究科
専門職大学院 教職大学院

TOP MESSAGE



学長
小原 芳明

1946年東京都生まれ。
スタンフォード大学大学院教育政策分析専攻修士課程修了。87年玉川大学文学部教授。94年玉川学園理事長、玉川大学学長、玉川学園学園長に就任。現在、日本私立大学協会会長代行、公益財団法人私立大学退職金財団理事長を務める。「教育の挑戦」「ハーバード大学の戦略」など著書・訳書多数。
※1 ELF：English as a Lingua Franca
※2 ESTEAM：ELF,Science, Technology,Engineering,Arts, Mathematics

学際的な「ESTEAM教育」を推進し新たな価値を創造できる人材を育成

――コロナ禍における授業の実施状況を教えてください。

現在は、オンライン形式を基本に対面形式を組み合わせて授業を行っています。この状況は日本の学校教育のあり方を変える機会ともいえます。社会でデジタルトランスフォーメーション（DX）が加速する今、そこに人材を送り出す大学側も、デジタル技術を駆使しDXを進める必要があると考えています。

――貴学が進めている独自の「ESTEAM教育」とは。

社会の課題が複雑化し、解決には学際的なアプローチが不可欠です。本学では科学、技術、工学、数学、芸術を融合させ、共通言語としてのELF（国際共通語としての英語）を加えたESTEAM教育を推進し、イノベーションを創出する人材を育成しています。例えばものづくりでも、芸術分野の発想が加わることで、機能性一辺倒ではない、より人間の感性に訴求するものが生み出せるでしょう。その一環として芸術学部をさらに進化させるべく、2021年4月には音楽学科、アート・デザイン学科、演劇・舞踊学科を新設します。

ESTEAM教育を支える施設も整備し、20年4月から工・農・芸術学部の学修拠点「STREAM Hall 2019」の運用を開始しました。学生が学部を超えて自由にものづくりに取り組める「メーカーズフロア」を設けるなど異分野融合を促し、新たなアイデアが具現化されていくことを期待しています。21年には実験室と工房を配した「Consilience Hall 2020」も開設予定です。

――先端的な科学研究も進んでいます。

LEDを光源に屋内で野菜を栽培する植物工場は、事業化が進み、軌道に乗りました。農業・工業技術を組み合わせたこの食料生産システムは、食料不足等を解決する未来型農業として海外からも注目され、アフリカのコートジボワールに技術提供をしています。同じ農業分野では、SATREPSに採択された、フィリピンにおけるバナナ・カカオの病害防除管理技術に関する国際共同研究もスタート。今後も社会に、世界に貢献しうる研究を進めていきます。

上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1　TEL 03-3238-3179（広報グループ）https://www.sophia.ac.jp
学部 神学部／文学部／総合人間科学部／法学部／経済学部／外国語学部／総合グローバル学部／国際教養学部／理工学部
大学院 神学研究科／文学研究科／実践宗教学研究科／総合人間科学研究科／法学研究科・法科大学院／経済学研究科／言語科学研究科／グローバル・スタディーズ研究科／理工学研究科／地球環境学研究科

TOP MESSAGE



学長
曄道 佳明

1962年生まれ。85年慶應義塾大学理工学部機械工学科卒、94年同大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士課程満期退学。2004年上智大学理工学部教授、11年学務担当副学長、14年グローバル化推進担当理事補佐、15年国際協力人材育成センター長等を経て、17年上智大学長に就任。

この時代を生きるための最先端のグローバル教育を展開

――ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたグローバル教育についてお聞かせください。

新型コロナの影響で本学においてもオンライン授業を中心に教育が進められています。今後はオンライン授業を対面授業の代替手段ではなく、新たな学びのスタイルとして積極的に活用していきます。もちろん、人間の成長に不可欠なリアルな経験である、対面での議論や海外留学はこれまで以上に重要性を増すのは間違いありません。

オンライン環境が整うことで新たなグローバル教育の可能性が生まれています。例えば文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択された「COIL（国際協働オンライン学習プログラム）」では、オンラインで海外大学と共同で授業を行っています。新たな国際交流の形であり、既存の授業科目や留学プログラムをより充実させる可能性を秘めています。

また、今年度はアフリカ7カ国9機関とネットワークを形成するプログラムを計画しており、さらなる成果が生まれると期待しています。

本学では、多文化共生や故緒方貞子先生が提唱した「人間の安全保障」などの観点から、国際社会における課題を発見し、その解決に貢献できる人材の育成を行っています。

――受験生へのメッセージをお願いします。

国際性に関して言えば、本学の研究者は、それぞれの研究分野において、まさに地球規模で活躍しており、さまざまな地域を比較しながら世界を俯瞰できる環境が整っています。

キャンパスでは、言葉や文化が多様であるだけでなく、さまざまな学術的バックグラウンドを持った教員や留学生と交流することができ、多様性の中から、新たな価値が創出されると確信しています。

新型コロナウイルスをはじめ、社会には多くの不安要素がありますが、本学を目指す人には、その不安にひるまず、社会に潜むさまざまな課題の解決に挑戦していただきたい。本学での学びは、この時代の、この地球の課題にどのように挑めばいいのかという道筋を示してくれます。上智大学は、皆さんの信念や志をしっかりと醸成できる場を提供します。


NOTHING CAN BIND YOU.
境界なき学びの世界が、待っている。
立教大学
【池袋キャンパス】文学部／異文化コミュニケーション学部／経済学部／経営学部／理学部／社会学部／法学部／ Global Liberal Arts Program(GLAP)
【新座キャンパス】観光学部／コミュニティ福祉学部／現代心理学部

東洋大学

広報課 〒112-8606 東京都文京区白山5丁目28-20　Tel 03-3945-7571　https://www.toyo.ac.jp/
学部 文学部／経済学部／経営学部／法学部／社会学部／国際学部／国際観光学部／情報連携学部／ライフデザイン学部／理工学部／総合情報学部／生命科学部／食環境科学部
大学院 文学研究科／社会学研究科／法学研究科／経営学研究科／理工学研究科／経済学研究科／国際学研究科／国際観光学研究科／社会福祉学研究科／生命科学研究科／ライフデザイン学研究科／学際・融合科学研究科／総合情報学研究科／食環境科学研究科／情報連携学研究科

教育・研究の質的向上を目指し 学部・キャンパスの再編が進行中



学長
矢口 悦子

1956年生まれ。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科（博士課程）単位修得退学。博士（人文科学）。専門分野は社会教育学・生涯学習論。2003年４月から東洋大学文学部教授。社会貢献センター長、文学部長などを歴任し、20年４月から現職。

――大規模な学部・キャンパスの移転・再編が進んでいます。

学部・キャンパスの移転・再編の目的は、教育・研究の質を向上させ、新たな時代を担う人材を育成することです。キャンパスの特徴を明確にし、そこに共通するテーマをもつ学部を配置して、互いに連携を図ってまいります。

現在は朝霞キャンパス（埼玉県）に設置しているライフデザイン学部・研究科を２０２１年度に赤羽台キャンパス（東京都）へ移転し、23年度には福祉とスポーツ科学の教育・研究を行う福祉社会デザイン学部と健康スポーツ科学部の２学部を開設する構想です（※）。さらに、24年度には生命科学・食環境科学関連の２学部６学科を朝霞キャンパスに集約する予定です。

赤羽台キャンパスに開設予定の「福祉社会デザイン学部」では、従来の福祉領域を拡張した多様な分野による社会創造を目指し、グローバルな視野を有したイノベーションを起こせる人材を育成。「健康スポーツ科学部」は、健康・スポーツ領域諸分野や栄養科学を通じた社会課題の解決を図っていきます。また、既設の情報連携学部との協働にも期待しています。

さらに21年度には、白山キャンパスに設置している社会学部の社会文化システム学科を「国際社会学科」に改組し、現場体験型の学びを通じて、多文化共生と多様性の推進・活用を実践できる地球市民（グローバル・シティズン）の育成を目指します。

――研究面では、ＳＤＧｓへの貢献にも取り組んでいます。

「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」に象徴される地球規模の課題解決は、生命、健康、生活、共生、パートナーシップなど、学問間の連携や協働が重要となります。本学では、地球レベルの課題解決に貢献する研究を独自の研究助成制度「重点研究推進プログラム」によって、積極的に進めています。これらの活動が評価され、ＳＤＧｓの枠組みを通じ大学の社会貢献度を測る「ＴＨＥ大学インパクトランキング２０２０」で国内20位タイに選出。これからも幅広い学問分野を有する〝知の拠点〟として、教育・研究の両面からＳＤＧｓに積極的に取り組み、地球の未来に貢献します。

（※）設置構想中。学部学科名は仮称であり、計画内容が変更になる可能性もあります。

東京工科大学

広報課 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1　0120-444-903（広報課）　https://www.teu.ac.jp/
学部 ［八王子キャンパス］工学部（機械工学科、電気電子工学科、応用化学科）／コンピュータサイエンス学部／メディア学部／応用生物学部
［蒲田キャンパス］デザイン学部／医療保健学部（リハビリテーション学科［2021年4月新設］、看護学科、臨床工学科、臨床検査学科）
大学院 ［八王子キャンパス］工学研究科／バイオ・情報メディア研究科
［蒲田キャンパス］デザイン研究科／医療技術学研究科［2021年4月新設］

実学主義×ICTでシナジーを発揮 SDGsを牽引する人材を育成



学長
大山 恭弘

アドバンスト・コントロール・ラボラトリ株式会社取締役を経て、1991年、東京工科大学着任。制御工学、メカトロニクス、オンライン教育システムなどの教育研究に従事する一方、イリノイ大学客員研究員、東京工科大学学生部長、教務部長、工学部長、副学長等を歴任。2020年４月から現職。

――今春、学長に就任されました。抱負をお聞かせください。

本学は、１９８６年の創立以来「実学主義教育」を掲げ、教育・研究環境の整備を進めてきました。その間、工学部、コンピュータサイエンス学部、メディア学部、応用生物学部、デザイン学部、医療保健学部の６学部および大学院を擁する理工系総合大学へと発展し、時代の要請や社会の変化に対応できる人材を育成してきました。この伝統を受け継ぎ、さらなる教育・研究体制の拡充を図ってまいります。研究面においては最先端のテーマに取り組んでおり、産官学連携で航空機等に活用される革新的工業材料の開発や、二酸化炭素削減に貢献する循環型生物資源を用いたプラスチックの開発などを行っています。またＩＣＴ分野以外でも、デザインや医療、バイオの領域まで幅広い分野においてＡＩ研究を推進しています。

一方、工学部で導入している「コーオプ教育」を今年度から八王子キャンパスの全学部に広げました。企業の現場で長期間働き、報酬を得るプログラムであり、この経験によって学生の意識は大きく変わり、実践力と就業力が向上します。

――新型コロナウイルスへの対応についてはいかがですか。

本学ではノートＰＣを用いた授業をおよそ20年前から開始しており、長い実績があります。現在では全学生ノートＰＣ必携であり、教育・学修支援を実現するプラットフォーム「Moodle」を導入するなど、先駆的な学修環境を実現しています。このようなノウハウの蓄積により、遠隔授業への移行も非常にスムーズでした。

――来年４月、医療保健学部で新学科が新設されます。

これまで医療保健学部は看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科、臨床検査学科で構成されていましたが、一部学科を改組し、さらに言語聴覚学の教育を加えたリハビリテーション学科「言語聴覚学専攻／理学療法学専攻／作業療法学専攻」を新設します。既存の学科とともに、チーム医療に欠かせない「３Ｃ」（コミュニケーション、コラボレーション、コンピュータ）の力を磨き、チーム医療で力を発揮できる人材を育成いたします。

日本大学

企画広報部企画課 〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24　Tel 03-5275-9284　https://www.nihon-u.ac.jp
法学部／文理学部／経済学部／商学部／芸術学部／国際関係学部／危機管理学部／スポーツ科学部／理工学部／生産工学部／工学部／医学部／歯学部／松戸歯学部／生物資源科学部／薬学部／通信教育部／短期大学部／大学院／専門学校／高等学校／中等教育学校／中学校／小学校／幼稚園／認定こども園

総合力を生かした教育・研究で 世界に認められる〝知の共同体〟へ



学長
加藤 直人

1979年日本大学大学院文学研究科東洋史学専攻博士後期課程満期退学。博士（文学）。専攻は東洋史で、満族史研究会会長、内陸アジア史学会常任理事、東方学会学術委員を務める。日本大学文理学部教授、文理学部長、大学院文学研究科長、大学院総合基礎科学研究科長、副学長を歴任。2020年9月から現職。

――今年９月に学長に就任されました。抱負は？

本学は16学部、通信教育部、短期大学部、大学院を有する我が国有数の〝知の共同体〟です。この総合力を生かし、有為な人材の育成に努め「世界の日本大学」と認知いただけるよう、教職員一丸となって教育・研究活動を展開してまいります。

直近の課題としては、新型コロナウイルスによる経済の落ち込みにより、進学者、保護者の経済負担が厳しさを増すなかで、危機感を持って選ばれる大学づくりが急務であると考えます。一方、出口として就職率の向上を目指し、人脈強化に重点を置き、約１２０万人の本学校友が後輩を支援できる体制を整備してまいります。

――新型コロナウイルスへの対応はいかがですか。

健康面では「大学等におけるキャンパスでの授業実施等に向けたガイドライン」を策定し、「日本大学健康観察システム」を学生に提供しています。また経済支援策として、本学独自の給付奨学金では、家計急変や学生本人の収入減による経済的困窮者１万人に年額10万円（総額10億円）の給付募集を行ったほか、パソコンやタブレット端末を用意できない学生にはパソコンの無償貸与や全学生に一律３万円の学修環境補助費を支給するなどしました。

――総合力を生かした研究や教育プログラムはいかがですか。

本学では〝研究の多様性〟を重視し、「よりよい未来と健康な社会を作る日本大学発イノベーションの実現」に向け、学部連携に基づく異分野協働型の教育・研究拠点づくりを進めています。また、研究を加速させるために、研究期間３年間、助成金総額１億円の大型研究助成制度である本学独自の理事長特別研究、学長特別研究を設けています。

教育面では、全学共通教育科目「自主創造の基礎」や学部間の垣根を越えた大規模交流授業「日本大学ワールド・カフェ」、全学部の学生・教職員が参加する学生企画・立案型ＦＤ「CHAmmiT」、日大生の〝ってみたい〟を実現する「日本大学自主創造プロジェクト」など、総合大学としてのメリットを生かした教育を展開しております。

東京情報大学

学校法人 東京農業大学
入試・広報課 〒265-8501 千葉県千葉市若葉区御成台4-1　Tel 043-236-1408　http://www.tuis.ac.jp/
学部 総合情報学部 総合情報学科／看護学部 看護学科
大学院 総合情報学研究科 博士前・後期課程

「情報」を強みとし、あらゆる 分野で活躍する人材を育成する



学長
鈴木 昌治

1951年静岡県生まれ。75年東京農業大学農学部醸造学科卒業。同年東京農業大学助手、同講師、同助教授を経て、2000年から同大学応用生物科学部教授。1988年農学博士。2007年7月から学校法人東京農業大学評議員・理事、08年10月から学校法人東京農業大学常務理事。15年7月から現職。17年東京農業大学名誉教授。

――「情報」と「看護」は、ウィズコロナ時代において最も注目を集めている分野です。

「情報」は、いまや世の中のあらゆる分野と深く関わっており、情報についての知識を得ることは、どんな分野で働くうえでも必須の素養となっています。その中でも先駆けて看護に注目したのは、超高齢化社会を迎えるにあたり、病院中心の医療から在宅医療への転換が進んで地域包括ケアシステムの重要性が高まるなど、医療改革が急務とされていたからです。

実際に、今回の新型コロナウイルス感染拡大という事態において、一時は医療従事者や病床の不足など、医療崩壊の危機が懸念されていました。つまり、今後は従来型の医療体制では対応しきれない状況に直面する可能性が高く、本学の看護学部が掲げる「情報技術に精通した医療人」は、まさにこれからの社会が必要とする人材であると確信しています。

――「情報」がいずれの専門分野においても基礎となる時代なのですね。

その通りです。政府もＩＴ人材の不足に強い危機感を持っており、２０２２年に高校において情報Ｉが必修になるなど、基礎学力の一つとして情報を習得することを最重要視しています。こうした流れは本学の就職率にも如実に反映されており、18年度卒業生における就職内定率は96・４％。総合情報学部定員４００人に対して９６６０件もの求人情報が寄せられ、一人当たりの求人数が24・０件（全国平均１・88件）という驚異的な数字となっています。また、総合情報学部では高等学校一種（情報）免許が取得できるなど、ＩＴ教育という側面においても有用な人材を育成しています。加えて、11月には総合情報学部の先端データ科学研究センターを開設。データ科学の研究拠点として大学全体の研究力向上を図ります。

こうした本学の取り組みは、すでにさまざまな分野で大きな成果を出しており、希望する業種に就職を果たした学生が各部門のリーダーとして活躍しています。今後も教育理念である現代実学主義を徹底し、将来的には情報科学の総合大学として、より有用な人材を育成していきたいと考えています。

東京農業大学

学校法人東京農業大学 経営企画部　〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1　Tel 03-5477-2300　https://www.nodai.ac.jp/
学部 農学部／応用生物科学部／生命科学部／地域環境科学部／国際食料情報学部／生物産業学部
大学院 農学研究科／応用生物科学研究科／生物産業学研究科

新研究棟で「実学主義」がさらに進化 地球、社会に貢献する農理工経の人材を育成



学長
髙野 克己

1953年東京都生まれ。77年東京農業大学農学部農芸化学科卒業。同大学院修士課程修了後、同大助手。85年農学博士。95年同大農学部農芸化学科教授。2008年同応用生物科学部長。09年同大学・同短期大学部副学長を経て13年7月から現職。専門は食品化学、食品製造学。研究テーマは「食品のおいしさの秘密を科学する」。

――２０２１年には創立１３０周年を迎えられます。

創立１３０周年に向けて教育環境を整備してきました。昨年11月に世田谷キャンパスに誕生した都内最大級の研究施設「農大サイエンスポート」はその象徴です。未来の地球、人類社会づくりに貢献する「農のこころ」を持つ人材を育むためのゆりかごであり、研究発信の拠点としての役割を持っています。

これまで分散していた研究室が一堂に集まり、学科や研究室の枠を超えたコラボレーションが生まれ、イノベーションにつながると期待しています。

今、新型コロナウイルスで社会は大きく混乱しています。命を支えるという基本的なことがあらためて重要になっています。本学としてもこの命を支える〝農〟というものを再定義することが求められていると思います。

そこで将来的には、超情報化社会に向けて、ＡＩを活用した新たな経済・経営、工学分野にも教育研究のフィールドを広げ、新たな農の領域を切り拓いていきたいと考えています。

――新型コロナウイルスへの対応はいかがですか。

前期はオンライン授業でしたが、後期は実習、実験科目を中心に対面授業も再開しています。また、学生の不安解消のために教員が相談を受けるなど、学生のサポートをしています。就職支援についても、オンライン面接の要点をまとめた動画を配信するなど、きめ細かいサポートを行い、ほぼ前年並みの内定率となりました。

――受験生へのメッセージをお願いします。

東京農大の学生は世間から〝真面目〟と評価されることが多いのですが、生き物を対象とした学問から、共生、調和、他者への思いやりを学ぶからだと思います。

「実学主義」とは、教科書どおりに学ぶのではなく、教科書の内容が真実かどうかを自分の目で確かめ、実験や実習を通じて修得していくことです。自ら課題を発見し、解決する意欲を持った人に来てほしい。また、研究は失敗の連続であり、失敗から学ぶことも多くあります。失敗を恐れず、チャレンジ精神旺盛な人を求めます。

法政大学 HOSEI University

入学センター 〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1　Tel 03-3264-9300　http://www.nyushi.hosei.ac.jp
学部 法学部／文学部／経済学部／社会学部／経営学部／国際文化学部／人間環境学部／現代福祉学部／キャリアデザイン学部／GIS（グローバル教養学部）／スポーツ健康学部／情報科学部／デザイン工学部／理工学部／生命科学部
大学院 人文科学／国際文化／経済学／法学／政治学／社会学／経営学／人間社会／政策創造／公共政策／キャリアデザイン学／スポーツ健康学／情報科学／デザイン工学／理工学
専門職大学院 法務研究科／イノベーション・マネジメント研究科

「自由を生き抜く実践知」の大学憲章に基づき グローバル化、ダイバーシティ化を積極推進



総長
田中 優子

1952年生まれ。専門は江戸時代の文学・生活文化、アジア比較文化。74年法政大学文学部卒業。80年同大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学と同時に同大学第一教養部専任講師。助教授、教授を経て2012年社会学部長、学校法人法政大学評議員。14年から現職。東京六大学初の女性トップとして大規模な大学改革を推進している。

――２年連続で一般入学志願者数が全国でトップ。受験生を集めた理由をお聞かせください。

かつて本学はバンカラな校風でしたが、校舎のリニューアルなどを機に教学環境が整備され、女子にも抵抗なく受け入れてもらえるイメージに刷新されたことがまず挙げられます。

もう一つは留学制度の充実など、グローバル教育を積極的に推し進め、スーパーグローバル大学創成支援にも採択されたことから、本学の学びの特色が広く認知されたと考えています。

さらに、メディアを通じて、本学の姿をさまざまな形で外部に発信してきたことや、時代に即した入試制度に改めるなど、地道な努力が結実してきたからではないでしょうか。

――大学憲章に「自由を生き抜く実践知」を掲げられました。

財政基盤を確立し、持続可能な大学運営を行うためには長期ビジョン「ＨＯＳＥＩ２０３０」を策定しました。

これに加え、大学運営の根幹となる理念を言語化しておくことが重要だと考え、教職員がワークショップを重ね２年の歳月を経て生まれたのが大学憲章、「自由を生き抜く実践知」です。

まず理想を持つことが重要です。その実現に向かって、自らの立っている現場で考え行動し創造することで、自ら自由を獲得し続けること。そのための知性を意味します。

２０１６年度より開催している「自由を生き抜く実践知大賞」では学内で取り組まれている様々な「実践知」を体現する取り組みに対して表彰を行いました。個々の取り組みが「実践知」につながる活動だと認識する貴重な機会となっています。

さらに、法政で何を学び、どう卒業していくかを「実践知教育」として進めています。

外国人留学生と英語や諸外国語で交流ができるラウンジや、英語の授業のみで卒業できるコースを設けるなど、キャンパス内がグローバル化しています。

ＬＧＢＴを含め、性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、多様な個性が尊重される知の拠点として、ダイバーシティにも配慮した運営を心がけています。

武蔵大学 MUSASHI UNIVERSITY

広報室 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1 Tel 03-5984-3813 www.musashi.ac.jp
学部 経済学部／人文学部／社会学部／国際教養学部（仮称）2022年４月設置構想中
大学院 経済学研究科／人文科学研究科

「ゼミの武蔵」 〝ゼミで磨く、世界を生き抜く力〟



学長
山崇 哲哉

1957年山口県生まれ。81年早稲田大学第一文学部卒業、90年同大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学。91年武蔵大学人文学部専任講師、93年同助教授、2000年同社会学部教授。社会学部長等を経て、14年から現職。

――伝統ある少人数教育や新たなグローバル教育の取り組みについてお聞かせください。

本学は創立以来、徹底した少人数教育を重視し、「ゼミの武蔵」を標榜してきました。ゼミは４年間必修で、教員や仲間との交流の中で、幅広い教養を培うリベラルアーツに重点を置いた教育を展開しています。

また各学部の特性に応じたプログラムやコースを充実させ、様々な場で活躍できる〝グローバル市民〟の育成を目指しています。

――どのようなプログラムやコースですか？

経済学部では、本学教員がロンドン大学のプログラムを英語で行い、日本に居ながら２つの大学の学位を取得できる日本初「パラレル・ディグリー・プログラム」を実施。今年２期生の５割を超える４名がロンドン大学の学位取得要件を満たしました。人文学部は高い語学力と異文化理解力を養う「グローバル・スタディーズコース」、社会学部は「データ」と世界共通語である「英語」のスキルを身につける「グローバル・データサイエンスコース」といったコースです。

――キャリア教育や産学連携での特色は？

本学では、１年次から就業観を育成しますが、常に丁寧な対応を心がけています。今年はオンラインでガイダンスを開催したところ、例年以上に多くの学生が参加しました。また、企業からの課題に３学部の学生が協働して解決策を考える「三学部横断型ゼミナール・プロジェクト」も成果を挙げています。少人数教育を基盤としたこれらの取り組みは、進路指導教員を対象とした調査でも、「小規模だが評価できる大学」「面倒見の良い大学」として毎年高い評価を得ています。

――新しい学部を構想中とのことですが？

武蔵学園創立百周年を迎える２０２２年に、リベラルアーツ＆サイエンス教育を軸にした総合的な学びと、英語で行う授業によって専門領域を極める「国際教養学部（仮称）」の設置を構想しています。

現在、コロナ禍で世界は混乱していますが、今こそ世界的な課題解決に向け教養あるグローバルリーダー育成に取り組みます。

東京理科大学

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3　Tel 03-3260-4271（代）　https://www.tus.ac.jp/
学部 理学部第一部／工学部／薬学部／理工学部／基礎工学部＊／経営学部／理学部第二部
大学院 理学／工学／薬学／理工学／基礎工学＊／経営学／生命科学
＊2021年４月名称変更

コロナ危機をはじめ社会課題を解決する イノベーションリーダーを育成



学長
松本 洋一郎

1972年、東京大学工学部機械工学科卒業。77年、同大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。同年、東京大学工学部講師。助教授、教授を経て、2009年、東京大学理事・副学長。15年、理化学研究所理事、国立がん研究センター理事（非常勤）を経て18年、東京理科大学第10代学長に就任。その他、日本機械学会会長（第88期）、日本学術会議第三部機械工学委員会委員長（第23期）、米国機械学会フェロー（終身会員）を務める。

――創立１５０周年に向け、学部学科再編が進んでいます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、世界は大きく変わりました。大学教育のあり方も、この変化に対応していくことが求められています。

本学は２０２１年に創立１４０周年、そして31年には創立１５０周年を迎えます。この節目に大学の価値の向上を目指し、学部学科再編を計画しておりますが、コロナ危機以降、手放しで喜べる状況ではありません。この危機に立ち向かい、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の実現に寄与する人材育成には何が必要なのか、改めて見直しを図っています。

そうした中で経営学部に新設される国際デザイン経営学科では、ドラスティックに変化する社会を見つめ、意思決定を行い、素早くアクションを起こせる、イノベーティブかつグローバルな人材育成を目指しています。複雑な現代社会で必要とされる課題解決力を身につけることができると期待しています。

――新型コロナウイルスへの対応についてお聞かせください。

これまで実践してきた遠隔授業をよりよい授業に改善しようと、学生と教員を対象に遠隔授業に関する調査を行い、その結果をもとに授業傾向などの分析を始めました。コロナ禍による遠隔授業の長期化を見据え、学生の不安を解消する方策など、本学ならではの教育の質の向上に取り組んでいます。

――貴学ならではの教育、研究プログラムはいかがですか。

本学ではさまざまな教育研究が行われていますが、一例を挙げると、宇宙飛行士として活躍された向井千秋氏を特任副学長として迎え、「宇宙教育プログラム」を開講しています。宇宙という厳しい極限環境の中で、水や空気の浄化、食糧調達など、生命を維持していくためのシステムや、安全かつ効率的なロケットエンジンの研究を行っています。このような研究は、宇宙開発だけでなく、〝宇宙船地球号〟が抱える課題の解決にもつながるものです。

本学の教育方針「実力主義」は、真の実力を養うために丁寧な教育を行ってきたことを意味しています。ぜひ高校生の皆さんも、実力が身につく本学を目指してほしいと思います。

スポーツで「未来」を創る
運営法人の学校法人タイケン学園が国際大会・国内大会で培った数々のノウハウを学ぶ「トップスポーツプロモーションコース」と健康やライフスタイルに関する学術研究の成果を学ぶ「生涯スポーツコース」を専攻。
未来の「スポーツコーディネーター」を育成します。





学校法人 タイケン学園
WELLNESS
日本ウェルネススポーツ大学
生涯スポーツコース／トップスポーツプロモーションコース
利根キャンパス　〒300-1622 茨城県北相馬郡利根町布川 1377
東京サテライトキャンパス　〒179-0071 東京都練馬区旭町 3-23-22
北九州サテライトキャンパス　〒805-0043 福岡県北九州市八幡東区勝山 2-7-57
2021年春　沖縄サテライトキャンパス開設予定

2021年に23周年を迎えます。
新たな成長を続ける
総合学園グループ―― 学校法人 タイケン学園

● 日本ウェルネススポーツ大学
● 日本ウェルネススポーツ専門学校 東京校／広島校／北九州校
● 日本ウェルネス歯科衛生専門学校
● 日本ペット&アニマル専門学校
● 日本グローバルビジネス専門学校
● 日本グローバル専門学校
● 日本ウェルネス保育専門学校
● 日本ウェルネス高等学校
● 日本ウェルネス宮城高等学校
● 日本ウェルネス長野高等学校
● ウェルネス保育園 江刺・赤井・矢本・東松島・志木・成増・成増第2・越谷・茅ヶ崎・佐倉・ユーカリが丘・君津
● 公益財団法人日本幼少年体育協会